等の諸村を經て豐濱町に達する一線ありといへども此線路中には名勝舊址の顯著なるもののあらざるにより之を省略す

第九齣　仲多度郡琴平線路

此線路は高松丸龜間に於けるが如く讃岐鐵道線路と相並びて進行せるが故に疲勞せは隨意に乘車するの便あり

○道隆寺　丸龜市より多度津町に通ずる街道を西行すること三十四丁許にして左側に一大古刹あり是を桑田山明王院道隆寺とす本尊は弘法大師作藥師瑠璃光如來とて四國第七十七番の札所なり境内には妙見祠　大師堂鐘樓茶堂二王門等あり寺記に曰く當寺は人皇四十三代元明天皇の御宇入江乙長和氣の道隆といふ人ありてこれを創立せり道隆は　景行天皇十三世の苗裔父の那珂那木德の臣主和氣善茂の次男なり嘗て道隆所持の園北加茂の郷にありこれに千樫の桑を植も

所謂讃岐の國の桑園これなり然るに其森中に圍凡一丈五尺の大木あり種々奇怪の事あるにより此樹を伐り藥師如來の尊像を彫刻せしめ小堂を作りて安置し旦暮に是を信ず時に天平神護二丙午年秋七月十五日午の剋年齡九十九にて卒す其後深朝祈といふ人延曆二十二癸未年靈夢の告を蒙り弘法大師にあひて先祖の事をかたり彼桑佛を見せ奉りて小像なるがもへに大像を鄰に請ふ大師其篤信を感じたまひ長二尺五寸の藥師を作り右の桑佛を胎中に納れ永世不失の秘計に擬し給へり朝祈ふかく眞乘に歸し頭髮を剃り戒をうけ世塵をさけて家園財寶を捨て精舍とし此本尊を安置して大師を供養し奉り境内標分四町四方を卜め堂塔を建て頗る梵風を究めたり先祖道隆より事起るがもへにちの名をもつて寺號とす弘仁未年朝祈入道大師を請じて結緣灌頂執行あり遠近の道俗ちさくに隨ひて相逐來る人所せきまで市

をなせり此時寺を十餘宇作り群集の人をいれける爾しより佛法繁興の區となり岡雅僧正命によつてこゝに住し給ひ後に聖寶尊師も住し給ふ然るに一旦兵燹に罹り殿堂悉く燒亡しいまは昔に似ずなりぬ云々

○多度津町　丸龜市を西に去ること一里十一丁瀛車によれば二哩七十二鎖の地にあり讃岐鐵道は此地を起点として南は琴平町に至り東は丸龜宇多津坂出等の諸驛を經て高松市に達せり海岸は多度津港にして圓形の防波堤を以て圍まれ船舶の出入夥しく金刀比毘參詣の人士多くに此港より昇降するが故に町内頗る繁盛を極め旅館軒を並べたり町の廣袤東西七町南北六町ありて戸數千二百餘を有し一等郵便電信局區裁判所出張所警察分署讃岐鐵道株式會社等あり

○金倉寺　多度津町より南すること一里四丁にして豐原村に至り東に折れて行くこと二十丁許龍川村大字金藏寺にあり鷄足山資福院と號し本尊は智證大師作藥師如來なり境内二千三百八十二坪金堂御剃帝母堂大師堂龍王堂二王門鐘樓等ありて四國第七十六番の札所なり寺記に曰く當寺は人皇四十九代　光仁天皇寶龜五年の草創にて和氣道善の建立なるが故に道善寺と號したり然るに其後　醍醐天皇延長六年　勅ありて金藏寺と改たむ金倉の郷にあるが故なり其境北は海三方は山にして誠に迦葉尊者の入定し給ふ天竺の鷄足山の大洞に相似たればとて鷄足山と稱す原來智證大師誕生の靈場なるが故に往昔盛んなる時は境内南北數十町東西十餘町ありて國中第一の伽藍なり智證大師唐土にて見給ふ所の繪圖を示して飛彈の匠其工妙をつくしたる佛殿僧房なれば世に金倉寺の唐門堂と申せしとなり然れども建武天文の兵亂に燒失し忽ちに其跡を亡ひ只草堂に古佛眞影を納め置の

みなりけるを寛永十九年國守伽藍を再建したまひ寺領を寄附あらせられ再び舊跡をあらわし給ふ云々

○善通寺　多度津町を南に去ること二里十五丁の地にあり五岳山誕生院と號し四國第七十五番の札所なり本尊は弘法大師作藥師瑠璃光如來とす五重大塔鐘樓鼓樓常行堂獄喜天堂五社明神祠天神祠龍王祠法然塔尊氏塔觀智院花成坊院主坊等あり又た奥院には御影堂親鸞堂十王堂茶堂鐘樓二王門護摩堂本坊等ありて讃州第一の巨刹なり此地は往昔弘法大師の生長せし所にして其父佐伯善通が庭園のありし跡に大師入唐歸朝の後父善通母玉寄およひ祖光の追善を爲し且つ布徴するが爲め堂宇を建て父の名を取りて善通寺と號し己が生長の地なるにより誕生院と稱し背後に五峰の聳ゆるにより五岳山と號したりと云へり

○第十一師團兵營　善通寺の南に隣れる麻野村にあり大隊歩七線相列なり一區の市街を成せり元來此地は田野にして極めて寂寥たりしに新天地を顯出したりこれが爲め隣接の善通寺村其他の諸村は戸口日に增殖し將さに一大市を爲さんとせり

○琴平町　善通寺より南すること一里二十二丁にして琴平町に達す此地往昔は一個の僻村に過ぎざりしが慶長年度以來金毘羅大權現の威德世上に擴がり參詣者陸續として來集せしより漸次に戸口增殖し現時にありては戸數一千五百に近く人口七千餘に及び一ノ坂、札ノ前、愛宕、高畝、谷川、西山、金山寺、内町、新町、富士見、阿波金澤、六軒、旭、神明等の十五ケ町を爲すに至れり町内に警察分署、郵便電信局、區裁判所出張所藥煙草專賣所等あり旅館に於ては其多數なると莊宏なると關西第一と稱せらる此地より高松市に至る瀛車線路は二十七哩十九鎖なり旅舍は虎屋備前屋を最上とす

○金刀比羅宮　琴平町の頭上に聳へたる象頭山の中腹にありて祭神は大物主命とす古は象頭山金毘羅大權現と稱し金光院の僧別當たりしに明治元年六月神祭に改め事比羅神社と改稱し明治四年六月國幣小社に列せられ同十八年五月國幣中社に進めらる同二十二年七月事比羅の文字を金刀比羅となせり例年大祭は十月九日十日十一日の三日間なり

抑も當社は今を去ること八百九十五年以前長保三年藤原實秋　勅を奉して創祀せる所なりしに中世以降　皇政衰へ紀綱亂るゝに及びて佛徒等之に乘じ愚民を惑はして神代以來の諸神を以て天佛二部の化身なりと說き以て日本全土の著名なる神域を侵して堂宇僧坊を建て種々の偶像を作りて本尊と稱し諸神を指して天王權現菩薩等と云へり當社も亦た其侵犯に遭ひ神體を濱稱して阿含經或は大寶積經中に見ゆる金毘羅權現なりとするに至れり　王政維新の後ち神佛混淆の禁出て初めて神名を明かにするを得と雖ども無智の民は今日尙ほ南無金毘羅大權現と稱へて祈禱を爲すを見る嘆せざるべけんや

左に境内の古墨名所建物等の重なるものを揭ぐ

●崇敬講社本部●太鼓櫻●清少納言墳●神籬大門●櫻の馬場●神馬舍●社務所●黑門●牡丹園●板戸社●火雷社●旭社●賢木門●遙拜所●眞須賀神社●御年神社●事知神社●本宮●樂殿●嚴魂神社●睦魂神社●神庫●神輿庫●三穗津社●板舍●常盤神社●菅原神社●齋所●繒馬舍●大山祇神社

以上記する所によりて琴平線路の案內を終れり是より金藏寺停車場迄瀛車にて歸り同所より降り伊豫街道の案內を爲すべし

第十齣　三豐郡伊豫街道線

丸龜市より金藏寺に來れる伊予街道を西行すれば右手に巍然として乾立する一山を認む是を天霧山とす山上に城址あり之を天霧城の城とす

○天霧城址　此城は往昔讃岐の豪族香川信景創めて之を築き讃州一の名城と呼ばれたり南海治亂記に據れば香川氏の先は鎌倉權五郎景政より出で細川頼之の管領となるや西讃を香川氏に與ふ則ち此山に要城を設け多度津に本城を築けり此天霧は險阻の高山にして大手の路は馬も上れば宏莊の山城なり城内廣く大兵を容るゝに足り用水十分にて旱魃の時といへども乏きを告げず天正三年香川元景織田信長に服從して幕下に候せんと告ぐ信長使者を引見して衷情を聞きて大に喜び信の一字を與へて香川信景と稱せしむ同七年信景長曾我部元親と和し元親の次男五郎次郎を迎へて養嗣子となし女を以て之に妻はせ本城を讓渡す此時多度三野豐田那珂の四郡を領したり同十三年豐大閤四國を征するに及びて信景支ふると能はず天霧城を捨てゝ土佐に去るといふ

○彌谷寺　金藏寺より西行すること二里二十丁にして右手に巍巖削立せる一奇山を見る其半腹に堂宇相列なれり是を彌谷寺とす四國第七十一番の札所にして劍五山千手院と號し本尊は僧空海作千手觀世音菩薩脇士は同僧作不動明王毘沙門天なり寺記に曰く抑當山は人皇四十五代　聖武天皇の勅願　行基菩薩の開基にして彌陀釋迦の二佛を安置し遺華山八國寺と號す蓋絶頂に登れば八州を一望するが故なりと不然るに其後弘法大師此山に登臨し給ひ求聞持の法を修し給ひけるに虚空より利劍五柄降り金色の光赫々として藏王權現形を現じ大師に告給はく此山は三世の如來說法の地觀在薩埵度生の砌なり菩

薩顯はくば千手大悲の尊像を造り伽藍再興して秘密の法門を開き普く無福の衆生を救ひ給へ我も又法味をなめて鎖に守護せんと盟約ありける大師すなはち千手大悲の尊像を造立し新に精舍を營み給ひ且藏王權現の形像を彫刻し鎖守とし給ふ寶劍五柄降るを以て劍五山と號し又は劍の御山といふ五と御の音同じきにや大師窟を穿り佛像を彫刻し或は巖石に阿字を鐫し五輪塔彌陀三尊大日等をあらはせり其餘名號劍形寶塔形しかのみならず一山に有ところの怪岩奇石こと〳〵く五輪佛體にて目の接る物足の踏ところ高峰深谷に至るまで不思議の神跡にあらずと言となし故に佛谷佛山ともいふ凡當山嶮崖崔嵬とさかしく幽迥にして隣なきがごとし彼霞を服し風に駕する人にあらずば誰かよく此に至らんや雲霧常に起り靈木異草繁く岩端泉流いと清し精神凄然として嗜欲更に消す將いにしへは靈寶若干なりしかれども數回兵亂の爲に失し存する物多からず就中一奇の靈寶には大師所持の紫銅の鈴あり圓に四天王の像を彫其間には三胡杵を刻ひ拜するもの喟歎せずといふ事なし當寺を彌谷寺と稱するに至りしは何時の頃よりなるか明かならず云々山中の建物岩窟舊址墳墓石像等を擧ぐれば左の如し

●護摩岩窟●道範阿闍梨像●求聞持窟●拜堂●三尊彌陀佛彫刻磐石●藏王權現祠●加持水瀧●水祭納骨所●辨財天祠●除劍所●天神祠●鐘樓●十王堂●觀音堂●中院●洞地藏尊洞藥師佛●茶堂●法雲橋●手掛岩●二天門●二王門●東院址●瓶岩●穴藥師堂●生駒侯石塔●龍所●納經穴●山崎俊家石塔●山崎志州祖母石塔●香川家代々之墓●西院舊址●獨鈷坊古跡

○本山寺　三豐郡大見村なる彌谷寺を降りて伊豫街道を西行すること

と二里十丁にして本山村大字寺家に達す此地に一古刹あり寶持院長福寺と號す本山村にあるが故に世間に本山寺と呼べり本等は弘法大師作馬頭觀世音脇士は同作阿彌陀如來藥師瑠璃光如來なり此寺は大同年間弘法大師の創立に係り古は七堂伽藍魏々たりしが天正の兵火にかゝり悉く燒失し其後再興したれども舊形の十一に過ぎずといふ

○天神の松　本山寺より西する十八丁にして一ノ谷村大字吉岡に至り此地より里道を南行すること二十一丁常盤村大字植田に達すれば一寺あり七寶山普門院神照寺といふ寺内に天神の祠ありて大古松壹株あり高さ五丈餘幹の太さ壹丈五尺廻り東の枝二十五間餘西の枝十六七間南北の枝二十三四間あり鬱蒼として天日を覆へり菅公手栽に係りといふ天神の松或は植田の松と稱して人口に膾炙せり

○豐濱町　本山寺より西南に進む二里十五丁にして一好街に達す則ち豐濱町なり此地より伊豫國宇摩郡川ノ江村に至る二里三十四丁あり又た高松市に歸るには十六里十五丁とす町内には警察分署區裁判所出張所郵便局等ありて海濱の眺望頗る快濶なり

以上伊豫街道線の案内を終れり是より引返して觀音寺町に至り漸次に西讃沿海線路を東行して多度津町までの案内を爲すべし

第十一齣　三豐郡沿海線路

○觀音寺町　豐濱町より北すること一里二十丁にして達す此地は讃岐西部の最盛なる市街にして其地域東西五丁半南北六丁半あり町數十五戸數二千六百餘人口一萬を有し町内に三豐郡役所、觀音寺區裁判所、警察署、郵便電信局、稅務署等あり旅舍も尠からず松の屋を尤も可なりとす當町より高松市に到る十四里二十一丁なり

○觀音寺　觀音寺町の北を流るゝ財田川に架したる三架橋を渉り行

けば琴彈山の麓なり茲に一古刹あり七寶山觀音寺と號す四國第六十九番の札所にして本尊は弘法大師作正觀世音菩薩なり寺縣によれば始め日證上人此地に堂宇を創造し神宮寺と呼び法相宗たりしに大同元年弘法大師來りて再興し觀音の像を刻して本尊とし又丈六の瑠璃光如來四大天王等の像を刻し諸堂に安置し四十九基の石塔を立て卒都の四十九重を擬せしといふ現今境内三千百十餘坪ありて西金堂中金堂東金堂護摩堂地藏堂十王堂太子堂祖師堂五智寶塔鐘樓二王門等あり

○琴彈八幡宮　觀音寺の上なる琴彈山にあり　應神天皇を奉祀せり社傳によるに此社は　文武天皇の御宇大寶三年豐前國宇佐の宮より遷座し給へり其時三ケ日晝夜ともに西方の天鳴動し黑雲ふはひ日月の光を隱す國民あやしみ如何なる事と氣づかふ所に西方の空中より白雲虹の如く聳へ當山にかゝれり然ふして此山の麓梅腋の海濱に一艘の怪船あり中に琴の音ありて其音美妙にして嶺松に通ふころの頃此山に止住の上人あり名を日證といひけり此上人船に近づきていかなる神人にて在す哉何事にか此にいたらせ給ふと門答て曰我は是八幡大菩薩なり帝都に近づき擁護せんが爲に宇佐より出此地靈なるが故に遊べりと上人又曰疑惑の凡夫は異瑞を見ざれば信じがたし希くば遇迷の人のために靈異を示し給へと然るに其夜忽ち海水十有餘町の程綠竹の茂數となり又沙濱十歩餘松樹の林となれり諸民此奇怪を感嗟せずといふ事なし上人郡鄉に觸て十二三歳の童兒等の欲染なきもの數百人を集めこの山の竹の谷より御船を嶺上に引あげ齋祀して琴彈別宮と號し奉る云々現今は縣社にして畳田別命息長足姫命玉依姫命を合祀す境内南麓に一の華表隨神門ありて門内より磴

道山頂に通し左右に祇園社、稲荷社、菅原社、松尾社等あり山頂には本社拜殿繪馬天神庫社務所等あり大祭は毎歳八月十五日之を執行す此琴彈山は海邊の一小丘なりといへとも三方山なく南には財田の清流あり西北には有明の濱あり滿山の松樹烈風の爲めに偃臥して奔馳の如く根株蟠蜒して群蛇の相集まるに似たり遙かに西方を望めば燧の灘渺々として伊吹門上、股、小股の諸島海霧の裡に隱顯し東北方には稻積、九十九の聚巒あり其脈遠く海に入りて箱御崎となり無數の島嶼點々散在し風景畫圖の及ぶ所にあらず近年に至りて此丘陵より海邊へ懸けて有明濱を含ませしめ公園となしたり蓋し西山第一の勝地と云ふべきなり

○仁尾ノ平石　琴彈山より沿海の地を北行し高室村大字室本を過ぎ三里二十四丁にして仁尾浦に達す一漁村あり其前面海中に岩礁あり之を平石といふ岩上平般にして東西九間南北七百間上に數百人を坐せしむべし昔時讃岐大守生駒侯遊覽して此石上に踏舞を演せしめしより躍石の別名を得たり岩上より四顧すれば西は燧灘渺茫として涯際を知らず東は白沙青松遠く連なりて北海に入り南は大蔦小蔦の島嶼波間に浮び北は七寶の山高く聳ゆるありて山海の壯觀悉く備はれり春季に及べば好事家の來遊する者多し

○粟島航海學校　仁尾村より山を越へて詫間村に出ずれば天然の一大港灣あり是を詫間灣といふ水源六十尺を有し大艦巨船幾十艘を自由に旋轉するを得べし他日南海の軍港となるの風説あり此大灣の前面に當りて北海の屏障を爲すは粟島なり島中に航海學校あり明治二十九年の創設に係れり此島は粟、志々の二島より成り東西二里餘南北二十四丁周圍五里ありて戸數三百五十人口千六百餘を有す島民古

來航海を業とせしが德川氏政權を擅行するの際大船の新造を禁せしより稍々衰運に傾きしも　王政維新以降此等の禁を解かれ再たび航海業の隆昌を來たし一個人にして千石以上の巨船七八十艘を有する者あるに至れり

◎屏風浦海岸寺　詫間村より南して吉津村を過ぎ海邊の街道を東行すること三里白方村大字西白方に達すれば白沙青松の海濱に一寺あり之を經納山迦毘羅衛院と號す此海邊は往昔入海にして一帶に屏風ケ浦と唱へしより世人皆な屏風浦海岸寺と連稱せり奥の院は二丁許を隔て小丘の麓にあり此地は弘法大師誕生の舊址にして院には大師幼兒の像を安置し其左右に大師の父母の木像を置けり其四方には大師作四天王立てり院の傍なる大師堂には正面に弘法大師の像を置き左右に藥師如來觀世音菩薩の像を安す大師堂の前なる浴巾掛松は大師幼稚の時浴巾を掛けたる松なりといふ今存するものは古松の枯れたる代りに植へたる松樹なりといふ又た境内に產湯水といふ泉あり大師誕生の時產湯に用ひし清水なりとぞ

本坊には寺寶の展覽を許す今其重なるものを左に揭ぐ

●產盥石●詫間法眼筆空海像●土佐光貞筆佐伯田公像●土佐光起筆田公妻玉寄像●土佐光貞筆阿刀大足像●兆殿司筆四天王像●僧智證筆不動明王像●空海遺物の試金石硯、自然石不動像、富士石光明眞言石、鐵鉢、銅經筒、青色短冊石、牛石、銅印、石印、神代文字入甕、

海岸寺より東すること一里四丁にして多度津町に達す茲より一日瀧松市に歸り更らに程を改めて讃岐瀛船株式會社の船に乘じ小豆島に渡り有名なる寒霞溪其他の名勝を案内すべし

第十二齣　小豆郡線路

小豆郡は本島たる小豆島および附屬島なる豐島小豐島よりなり南海道中第二の大島なり高松市より海路十浬にして郡衙所在地たる土庄町に達す此地は島中最盛の地なるが故に運輸交通の便悉く備はり高松、岡山、神戸、大阪を往復する瀧船常に寄港し町内には郡衙を始として稅務署警察署郵便電信局區裁判所出張所等あり旅舍も少からず　して赤松、酒喜を尤も可なりとす此地より漸次に東南に巡ぐり寒霧溪に至るべし

○淵崎村　土庄町と一橋を隔てたり此地は素麺の製造を業とし其産額頗る多く又た和船の建造所あり町の南端丘陵の上には富岡神社あり　應神天皇を奉祀せり延長四年の創造に係れりといふ境内より眺望頗る爽快なり立寄り遊臨して參拜すべし

○池田村　淵崎村より東に去る一里十七丁許にして一大村落に至る之を池田村とす小豆郡中戸口最多の地なり前は海に面して船舶灣内に來往し背後には太麻山あり高さ二百八十六間巉巖壁立し其西端懸崖の下に瀧水寺あり觀世音を本尊とす寺壁皚々一帶の白雲山半に横はるが如し村内素麺の製造盛なり

○草壁村　池田村より東すること一里二十四丁許にして一大海灣に出づ是を草壁灣といふ其海邊を北すること十六丁にして一好村に達す則ち草壁村なり本村は醬油の製造頗る盛にして富豪少からず讃岐瀧船株式會社の瀧船は此地に來りて高松市に歸るが故に厭船の性あらざる人は土庄町に上陸するを止め直航して此に來るも可なりとす此草壁灣は一名を内ノ海と呼び東西三十町南北十八町水深十二仞ありて巨艦を泊するに足れり明治二十三年四月の末海軍大演習の

暴あるに當り　大元帥陛下吳、佐世保の両軍港へ行幸の途此灣内に御寄泊ありて海霧を避け給ひしことあり其折の御詠を左に謹載すべし

御製

思ひきやあつきのしまの朝霧にゆくさき見へすなりはてむとは

○寒霞溪山　草壁村より里道を北行すること十七八丁にして寒霞溪山の下端に達すべし此山は元神懸、神翔、神馳、鍵掛、等種々の文字を用ひて名付けられたり土人の傳說によれば　應神天皇此山に御遊ありしによりて如此名稱を殘せりとゝ山の下端なる一溪を渉り漸次に阪路を登り行けば進むに從ふて嶮となり山土剝脫して山骨露出し大小の溪流其間を奔下し一徑僅かに通せり山骨奇趣を帶びざる所なく或は空洞をなし或は巍峨を顯し或は特立の孤峰となり或は折裂して脇さに落んとし若くは横さまに突出し若くは斜めに天を衝き一歩を進むる毎に觀る所を異にして千狀萬態なり山中倭樹のみにして巖石皆な蔦蘿を纏へり秋季に至れば此等の樹草悉く紅色に變し滿溪錦を覆ふが如し山路の四分許を登れる所には雅致の一亭あり紅雲亭と名づく其下を奔流するは素麺流しの瀧なり此亭より上路は甚た嶮にして奇趣亦た頗る多し麓より山頂に至る路程は僅かに二十二三町に過ぎざるべきも登臨する者は疲勞甚し頂巔に至れば坦然たる芝生の地ありて四顧の風光筆舌の及ぶ所にあらず溪中の奇巖は其名稱を付せざるもの夥しといへども今左に十二景なるものを掲ぐ

通天窓　溪の左方嶺上にありて巖石の下腹空洞を爲せるものなり

紅雲亭　素麺流の瀧に沿ひて立てり此亭より全溪の大部分を見る

を得べし

錦屏風　廣幅數百丈の大斷壁にして爲蘿繞帶せり秋季に及べば悉く紅葉となりて頗る美觀なり

老杉洞　徑の左側にある大巖石の下腹空洞となり中央に一石を横たへて自然に矼をなし其背後には古杉鬱然たり

蟾蜍岩　徑の左側にありて形蟾蜍に似たるより名を得たり

玉筍峰　徑の右方にありて恰かも巨筍の如し此巖狀最も其名稱に適せり

帖子石　徑の右側に沿ふて立てり形帖子を重ねたるが如し

層雲遼　徑の右方天に聳ゆるが如く幾千重疊せる巨巖なり

荷葉岳　徑の左方溪流を距てたる大斷壁にして其岩面鬼裂縱横して荷葉に似たり

帽子石　徑の右方に聳ゆる巨巖にして頂上別に一巖を戴き人の烏帽を冠むるが如し

女蘿壁　山の頂に近き所の右方にある一絶壁の巖層にして爲蘿繞帶せり

四望頂　山頂にして遠海近山悉く眸裡に集まり眼下には奇巖峥嶸浮雲其間に來往する光景眞に仙界に立つの思あり

成島柳北の航薇日記中に曰くこれより神馳の山麓なりこのほとりにある石燈みな自然石を以て造る古色愛すべし山路に登るに隨ひ溪水潺湲として苔石磊側たり村落の童女松葉を竹籃に盛りて山より歸り來るさま大に風致を添ふ石逕を攀ぢて登るに雨濺き雲沸く輿丁も足を進むるに困すれども余と冠童と先登して人々をはげまして行く冠童余と聯句をなす

鬱々碧雲仙逕開　一簑衝雨上雀鬼　柳北

山雲莫笑無二桃樹一前度劉郎今復來　桐蔭

冠童は此山に登る三回なりと云ふ登ると半里許素麺瀑にいたる此の瀑は三丈餘の巨巖の面に流れ水條線の如く下る其両岸峰巒突起して其狀劍の如く屋の如しますます進んで望むに四面みな石山なり澗水淨々として青松巖頭に生じ其際にあるは盡く楓樹なり薜蘿纏綿し岩松斑瀾として石質を埋む本邦の山岳は異邦と異にして温厚の氣あるを常とするに獨り此山は奇と怪との両字を下すべき一勝地なり山形を四顧するに尖銳刀刃の如き者あり老獅の咆哮する形なる者巨人の坐嘯する姿のもの其他千狀萬態洞門を開く者溪水を遮る者變化奇幻筆墨の寫しがたき所あり支那人の畫く奇峰怪巖を始めて目睫に見る、實に一大絶勝といふべし

絶勝始疑天有私一丹青難寫況文詞、半生憐我烟霞癖、未識溪山若個奇、

益々登れば益々奇、愈々進めば愈々怪、一峰一溪といへども歩々に其觀を變ず冠童曾て余に語るに神馳の勝他に絶したるは一歩一景なりと余其過譽なるかと疑へり今日其眞を見るに及んで其奇幻實に一歩一景のみならざるを知れり山巔に近づくころ岫雲往來し山容出沒して詩歌も形狀すべき樣なし且其幽深なる猿鹿の外一物を見ず眞の神仙境なり冠童いふ此山に猿數千あり一月内十五日は此の谷に栖み十五日は坂手の觀音山に移る其往來の時索々聲を爲し草木震動すと是れ亦一奇事なりと峰巒の少し欠けたる所より讃州の諸山海を隔て〻現す海色蒼茫として間に一洲嶼あり其内に見やるは内ノ海なり下村港の人家は雲烟の間に明滅たり其風景亦奇絶とす此時風雨益々烈しく山氣冥濛として遥路歩を進むるに難けれど余は其奇に耽つて笠

をすて帆を頸に纏ひ衆を扶けて山頂に至る輿丁東道をなす者云ふ遊人神馳に登る者皆晴和の日を卜す未た君等の如く風雨を冒して此險山に登る者を見すと痛く吾輩の狂癖に喫驚せり山頂より四顧すれば山岳海濤千里一目西は屏風ヶ嶽を望み北は流れの山東は近く星城山を見るこの山は往古佐々木氏の城廓ありし所なりとヲ南は坂手其他の諸山遠近に聳も蒼海沓渺島嶼幾千あるを知らず讃の高松備の岡山播の赤穂姫路其他の城壘數十を一望に見る寔に天下の壯觀なり

雲岫千重又萬重、紅楓如錦映青松、他年栖隱斯鄉好、笑指星城第一峰

萬仞峰巒滄海間、雲龍老洞一路縈環、林泉不似人寰物、始悟蓬瀛是此山

山頂に坐し風雨の中に人々皆瓢酒を酌み醉興爽快なり忽ち連峰雲を起し來たり須臾に海山冥濛として咫尺も見ゑぬかと思へば一陣の風來り雲片飛散して山容明かに千里入眼の景誠に藹くに堪へたり

山出沒兮雲往來瞬間變幻亦奇哉、我登仙嶺最高處、長嘯一聲飛二酒盃一

俳歌者芭蕉の「初時雨猿も小簑をほしけなり」といふ句は此の山にて吟せしとヲ（以下畧）

○坂手村　寒霞溪より草壁村に歸り更らに灣邊に沿ひ東南に迂廻すること一里十四丁にして坂手村に達す此地の民航海及び漁業を常業とし生活の程度僻地に似す富豪の者も尠からず村の前面は坂手港と稱し福部島遙かに灣口に當り村の背後には峯、洞雲の奇峰相並びて其奇狀を爭ろへり洞雲山の奇巖下には深さ九十尺の洞穴ありて裡に毘沙門天を祀つれり峯山の奇巖中にも亦た空洞ありて觀世菩薩を

安置す此二山は巖層の雄大怪異なると登路の嶮峻なること八栗山に倍し實に讃州第一の奇山と稱すべきなり

以上記する所により小豆郡の名邑勝地を盡くせり之と同時に讃岐漫遊の終結に及びぬ觀光の客は是より高松市に歸航し而して各其鄉里に向つて去らるべし案内者は爰に諸君と袂を別つものなり

讃岐名勝 旅行案内 終

明治三十五年四月二十日印刷
明治三十五年四月廿五日發行

正價 金貳拾錢

著者 廣井汲
香川縣高松市丸龜町七十四番戸
發行者 北村彌市
大阪市南區鰻谷仲之町五十三番邸
印刷者 岡島幸治郎
大阪市南區中橋南詰
印刷所 岡島活版製造所

不許複製

發賣元 龜友堂本店 高松市丸龜町
發賣元 龜友堂支店 大川郡長尾村
賣捌所 縣下各書林

大阪控訴院長加太邦憲君校閲　判事樋山廣業君著

●官民必携　戸籍法實用　全壹冊　四六判四百六十ページ

●正價金六拾錢　郵税共

●戸籍願屆書式　菊判半載　全壹冊

●正價金拾錢　郵税共

岡田只一著　坂田耕雪畫

●源平屋島合戰　附舊蹟案内　菊判全壹冊

●正價金拾錢　●郵税貳錢

廣井汲著

●讃岐名勝　旅行獨案内　附名所寫眞入　菊判半載全壹冊

●正價金貳拾錢　●郵税四錢

●實測　四國明細全圖　全壹冊

●正價金貳拾錢　●郵税貳錢

94
41

8. 1. 12

94
41

94
41

026077−000−3

94−41

讃岐名勝旅行独案内

広井　汲／著

M35
ADC−3731